

経営比較分析表（令和6年度決算）

山形県 中山町

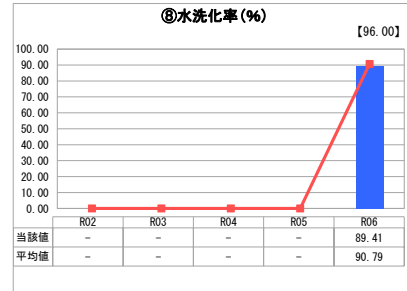
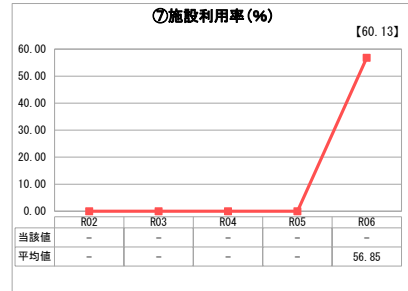
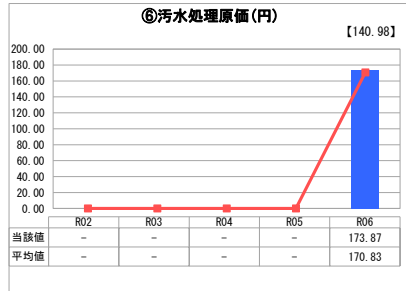
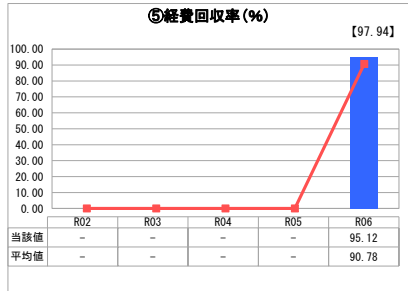
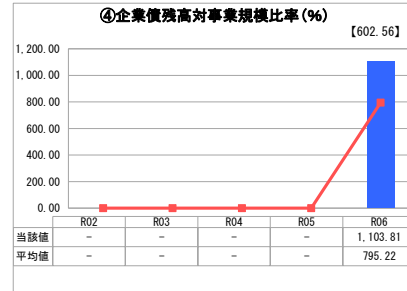
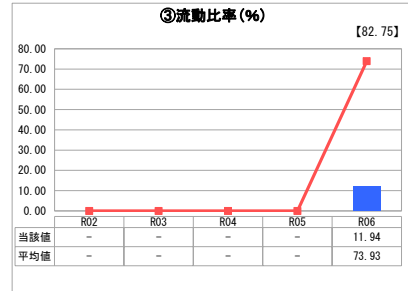
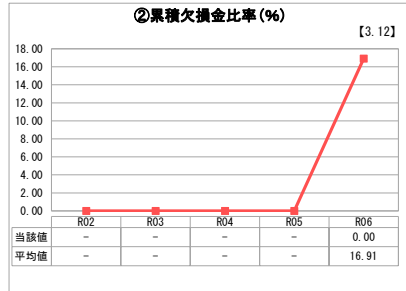
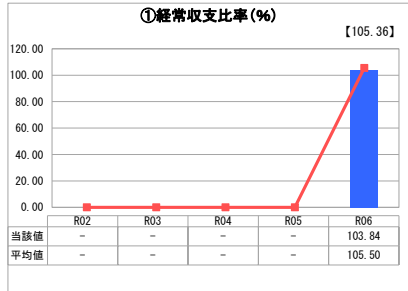
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	50.69	87.75	75.20	3,350

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,455	31.15	335.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,103	3.52	2,586.08

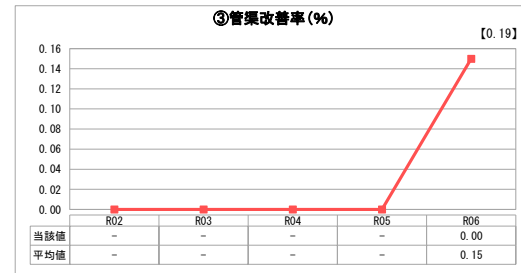
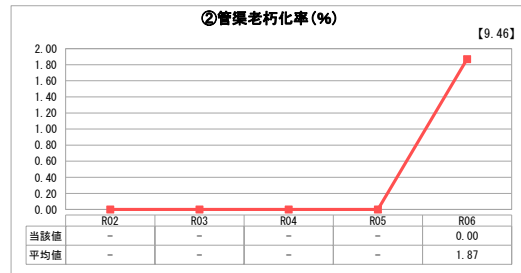
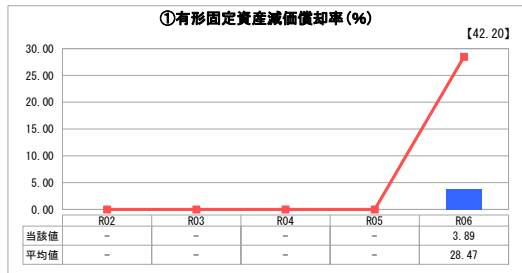
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は資本費が膨大で、地方債償還金とその支払利子が歳出の大部分を占めており、経営は元利償還金と使用料収入、一般会計繰入金に大きく左右される。

経常収支比率は、指標が100%を超えている。今後も総費用削減及び使用料収納率向上を目指し、比率の改善を目指していく必要がある。

流動比率には類似団体と比較して低い状態である。流動負債に企業債が含まれており、将来の返済に適切な使用料収入を充てて返済していく必要がある。

企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して高い状態である。平成20年度以降整備事業を休止しており、地方債残高は今後も減少する見込みであり、長期的には減少していく見込みである。

経費回収率は、類似団体と比較して高い状態である。汚水処理費の削減や使用料収入の向上が必要である。

汚水処理原価については、類似団体と比較して高い状態である。今後の有収水量は、人口減少等により長期的には減少見込みであることから、汚水処理原価は高めに推移する見込みである。

水洗化率については、類似団体平均を下回っているため、さらなる接続推進を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

現在、法定耐用年数を経過した管渠を所有していないため、積極的な改築更新を実施していない。

よって、主として不明水対策や日常の維持管理の一環として補修を実施しているものであり、計上している延長については、更生・改築実施延長ではなく、不良箇所の部分補修を実施したスパン延長であるため、今年度は該当箇所がなかった。

今後は管渠施設のストックマネジメント基本計画策定を検討し、これに基づいた調査・改築を目指す予定である。

全体総括

効率的な汚水処理のため、平成31年4月までに農業集落排水の2処理区を公共下水道へ編入した。残り2処理区についても接続基本計画を策定したことから、これに基づいた編入を進め、さらなる安定的な経営を図っていく。

また、持続的な機能確保と改築事業の平準化を図るため、ポンプ施設はストックマネジメント基本計画に基づき、計画的な改築等を進めている。管渠施設についても、具体的な改築等の必要が生じた際には改築実施計画を策定していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。